

議会報告会で回答を保留した質問に対する回答

問 ①	大井川広域水道企業団からの送水が止められては困るので、企業団から言われるままの金額を払っているのではないか。企業団はプロパーが入ったまま定年まで勤務している状態で、行政改革や賃金のこと、会計監査はどうなっているのか。
回 答 案	企業団には7市の首長が企業団議会の議員として、予算決算の審議を行っている。監査委員も条例で2名と定められており、市と同様の監査が行われている。

問 ②	中東遠総合医療センターに被ばくに対する治療体制はあるのか。専門医は配置されているのか。
回 答 案	年に一回、中部電力と連携をして原子力災害に対応するための訓練を行っている。有事には放射線科の医師を中心に緊急被ばく委員会を立ち上げて対応することになっている。 中東遠総合医療センターは初期被ばく医療機関と位置づけられており、重篤な場合には2次、3次の医療機関で対応することになる。

問 ③	旧病院の時に治療費が未払いだった人は何人くらいいて、いくら未払いがあったのか。
回 答 案	例年1千万円から1千5百万円程度を欠損処理していた。人数は100人から150人程度。原因としては、死亡や自己破産、無断転居による所在不明などにより実質的に回収不能となっているものが大部分を占めている。事務局では、訪問徴収や支払督促制度の活用など、様々な工夫を凝らして未収金の回収に努めていた。